

富山で全飲連全国大会を開催

第54回全飲連全国富山県大会が5月25日(水)に富山市の「オーパード・ホール」で開催されました。3月に行われた理事会で、大会スローガン、大会宣言が決定し、いよいよ全富山大会で全国から組合員のみならず、関係者も参加していただきます。



富山県飲食業生活衛生同業組合 理事長 浦野 三智男 大会実行委員長



全国飲食業生活衛生同業組合連合会 森川 滋 会長

食の安心・安全を担い 飲食業の未来を拓く組織力

大きな団体、組織力を持ち、さすがにと言われ、組織にしたいと考へていでも多くのお客さんへ多く「と全国大会へ多く立山連峰から富山河に

大会スローガン

1. 全飲連組織が持続的かつ安定した発展を続けていくために、経済、社会の動向を踏まえ、飲食業界の更なる発展と社会的地位向上を目指すとともに、組織拡充対策として毎年11月の生活衛生同業組合活動推進月間を活用し、地域において行政等との連携のもと本年作成の組合加盟店表示版の掲示と活用を図ると共に、新規事業者等の組合加入促進と併せて全飲連の組織力を生かした組合活動に全力を注ごう。
2. 消費税の免税点の引き上げを求め、現行の交際費全額入制度の延長と企業規模を問わず全額控除可能となるよう、飲食業界への消費拡大と地域経済の活性化に相俟しつつ、強く要望するものである。また、全面禁煙や厳格な分煙基準のみを一律に規制する法律等の制定に反対し、自主的な受動喫煙防止対策に努め、喫煙環境ステッカーを組合員全店に貼付することに努める。

大会宣言

本日の富山県大会の開催にあたり、全国の飲食業界を代表するわれわれは、国民の食生活における消費者ニーズの多様化、消費者への安心、安全を常に提供し、経済社会に対応すべく飲食事業者としての役割を担い飲食業界の経営環境の向上、発展に努めなければならない。

また、本大会を契機に、引き続き全国組合員が一体となり、新たな出発点として、組合組織の存在と活性化を図り、そこに文化的価値の追求、地域経済の動向を真剣に考え、我々飲食事業者は国民の信任に応えるために努力しなければならない。

なお、東日本大震災をはじめ、先月発生した平成28年熊本地震において被災された関係組合員の日も早期の復興を全国組合員一丸となって支援することとしたい。



全飲連ニュース掲載記事 大会スローガン・大会宣言

今年の「全飲連全国大会の開催地」は、『**運転代行発祥の地・富山**』です。
～運転代行は、飲酒運転根絶の担い手です！～

このステッカーが安心補償の目印です

この代行会社は安心だな

命を守るための 代り運転

小六 伊藤 香奈

▲JD共済主催の、飲酒運転ゼロを目指した前回の「SDD全国子ども書道コンクール」の優秀作品のうちの1点。

※他の優秀作品は、ホームページからご覧いただけます。

警察庁・国土交通省認可共済

ジェイ・ディ共済協同組合

理事長 丹澤 忠義

〒939-8072 富山県富山市堀川町278

☎0120-21-4455 JD共済

※運転代行業者には、事故時の補償をつけることが法律で義務づけられています。

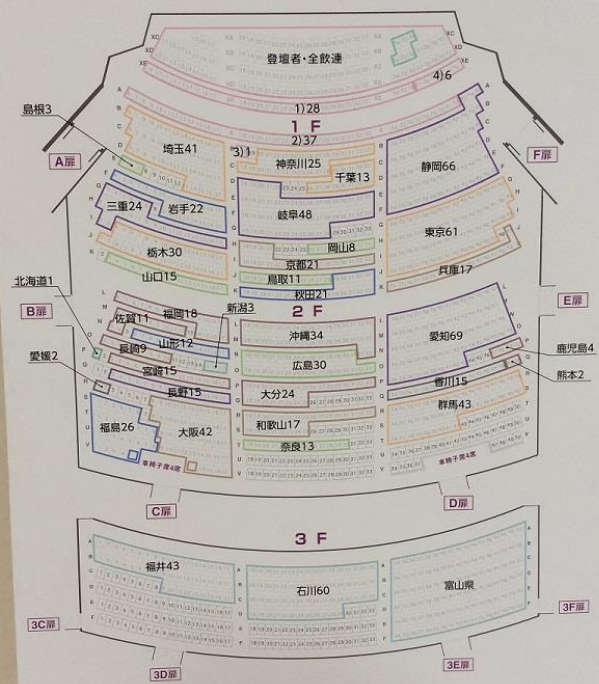
車で来店されたお客様の安心なご帰宅には、「運転代行」をご用命ください!

大会誌 広告

会場（オーバードホール）前



第54回全飲連全国富山県大会 座席表



- 1) 厚生労働省 医薬・生活衛生局長表彰受賞者
- 2) (一社)全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰受賞者
- 3) 全国飲食業生活衛生同業組合連合会会長表彰受賞者
- 4) 全国飲食業生活衛生同業組合連合会特別感謝状授与者

